

定期作況報告

(第2号 平成17年6月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より0.7 低く、最低気温も平年より1.6 低かった。降水量は平年より13.8 少なかった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より8.3時間多く、平年対比116%であった。夏日（最高気温25 以上）は1日間であった。

6月上旬：最高気温は平年より3.3 高く、最低気温も平年より2.0 高かった。降水量は平年より24.6mm少なかった。降水日数は平年より3日少なかった。日照時間は平年より3.3時間少なく、平年対比94%であった。夏日は3日間であった。

6月中旬：最高気温は平年より2.7 高く、最低気温も平年より2.0 高かった。降水量は平年より28.9mm多かった。降水日数は平年と同じであった。日照時間は平年より20.1時間多く、平年対比141%であった。夏日は7日間であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.4	20.1	0.7	23.6	20.3	3.3	25.0	22.3	2.7	22.6	20.9	1.7
最低気温()	6.9	8.5	1.6	10.8	8.8	2.0	13.3	11.3	2.0	10.2	9.5	0.7
平均気温()	13.2	14.2	1.0	16.7	14.4	2.3	18.8	16.5	2.3	16.1	15.0	1.1
降水量()	16.5	30.3	13.8	1.5	26.1	24.6	44.5	15.6	28.9	62.5	72.6	10.1
降水日数(日)	3	4	1	1	4	3	3	3	0	7	11	4
日照時間(h)	60.6	52.3	8.3	54.0	57.3	3.3	68.9	48.8	20.1	183.5	158.4	25.1

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水稲：平年並

事由：移植は中苗、成苗とも平年に比べ2日早い5月18日に行った。移植翌日に強風が吹いたため苗の植え傷みがみられ、特に中苗が大きな損傷を受けた。さらに、移植から数日間はやや低温が続いたため、苗の活着は緩慢であった。6月に入り好天が続いたため、生育は回復した。

6月20日現在、主稈葉数は中苗2品種で平年より0.5枚前後多く、成苗「きらら397」で0.8枚多かった。

当たり茎数は中苗「きらら397」で平年を1割以上上回ったものの、中苗「ほしのゆめ」、成苗「きらら397」は平年より1割程度下回った。草丈は中苗、成苗とも平年より2～4cm程度高かった。

以上、主稈葉数、草丈は平年をやや上回っており、当たり茎数は移植直後の苗の植え傷みおよび天候不順の影響により平年を下回るものがあるものの回復傾向にあるため、目下の作況は「平年並」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品種名	苗	主稈葉数 (枚)			茎数 (本/)				草丈 ()		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら 397	中苗	8.3	7.9	0.4	569	492	77	116	30.8	26.9	3.9
ほしのゆめ	中苗	7.9	7.4	0.5	439	491	52	89	30.7	28.7	2.0
きらら 397	成苗	8.9	8.1	0.8	557	611	54	91	32.2	30.2	2.0

注1) 平年値は平成10～16年7カ年のうち平成10年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要

施肥量 : N、P₂O₅、K₂O成分をそれぞれ8.0、9.7、6.9(/10a)

栽植密度 : 25株/ (33.3 × 12.0)

植え本数 : 中苗 ; 4本/株、成苗 ; 3本/株

移植日 : 中苗、成苗とも5月18日

2) 秋まき小麦 : やや不良

事由：6月が高温多照に経過し、適度な降雨に恵まれたため、生育は急激に旺盛になった。草丈は平年比96～97%まで回復し、茎数も現在のところ平年より多い。しかし、出穂期は平年より1週間程度遅く、生育の進捗が平年よりかなり遅い。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品種名	出穂期(月日)			草丈 (cm)			茎数 (本/)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホクシン	6.14	6.7	7	90.3	93.0	2.7	743	702	41
タイセツコムギ	6.18	6.12	6	89.0	92.4	3.4	718	657	61

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

3)大豆 : やや良

事由：播種期は5月17日で、平年より2日早かった。播種後は低温に経過し、また、播種時の土壌水分が高く、その後の降雨により土壌がクラスト化したため、出芽勢が劣った。しかし、5月末は気温が高く経過したため、出芽期は平年並みであった。出芽後の気温は高く推移したため、初期生育は順調である。主茎長は平年を上回り、主茎節数は平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表4 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 ()			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	6.2	6.2	0	14.4	11.2	3.2	3.9	3.7	0.2
トヨコマチ	6.2	6.2	0	16.8	13.1	3.7	4.6	4.1	0.5

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年及び平成14年を除く5カ年の平均値。

4)小豆 : やや良

事由：播種期は5月26日で平年より6日遅かったが、その後気温が高めに推移し、土壌水分も適度であったため、出芽期はほぼ平年並みであった。出芽後の気温も高かったため生育は進み、主茎長は平年をやや上回り、本葉数は平年を上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表5 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 ()			本 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	6.5	6.6	1	4.7	4.1	0.6	1.8	0.9	0.9
エリモショウズ	6.6	6.6	0	5.3	4.5	0.8	1.7	0.9	0.8

注1) 平年値は、前8か年中、平成14年(最豊)、平成16年(最凶)及び平成12年(参考)を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示す。

5)ばれいしょ : やや不良

事由：植付期は5月6日で平年より1日早かった。その後、気温はきわめて低く経過したため、萌芽期は平年より10日遅れた。5月末以降は天候が回復し高温に経過したため、生育は回復してきてお

り現在着蓄もみられるが、茎長は平年をやや下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表6 6月20日のばれいしょの生育

品種名	萌芽期(月日)			開花始(月日)			茎長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
農林1号	6.2	5.23	10		6.22	-	25.4	34.8	9.4
男爵いも	6.2	5.23	10		6.22	-	23.7	32.8	9.1

注1) 平年値は、前7か年中、平成11年、15年を除く5か年の平均値。但し、茎長は平成14年を除く6か年の平均値。

2) は平年より早を、は平年より減を示す。

6) てんさい : やや不良

事由: 6月に入り高温多照に経過し、6月12~13日にまとまった降雨があったため、生育が回復しつつある。しかし現在のところ、生葉数が平年より多いものの草丈は低く、全体の生育は平年より小さい。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表7 6月20日のてんさいの生育

品 種 名	草丈(cm)			生葉数(枚/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	30.1	38.5	8.4	15.4	13.5	1.9

注1) 平年値は前7か年中、平成11年、15年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

5月20日の時点で未播種であった小豆の耕種概要は以下の通りです。

表8 小豆の耕種概要

作物名	前作物	畦巾	株間	1株本数(本)	株数(株/10a)	施肥量(Kg/10a)				
						N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
小豆	秋まき小麦	60	20	2	8,333	3.0	10.2	9.0	2.5	-